



泉小学校コミュニティ・スクールだより

いずみっこ応援団!! R7年度 第3号

～学校と地域が手を取り合って～ (Vol.21)

新しい一年が始まりました！楽しく冬休みを過ごした子供たちは、寒さに負けず元気に学校生活をスタートさせています。今年度のいずみっこ応援団!!の活動もあとわずかとなりましたが、引き続き皆様の御協力をお願いいたします。今回は前回のお便りでお伝えしきれなかった活動について御紹介したいと思います。

★★ 5年 地域の防災について調べよう (総合) ★★

①防災訓練について



5年生は地域防災について学びます。6月の防災講話に続き、第2弾として泉自治会の鈴木会長と山口様、和合町自主防災隊防災コーディネーターの松山様にお越しいただき、各自自治会の防災訓練について教えていただきました。泉と和合に分かれて、実際の訓練ではどんなことを行うのかの説明を受けた後、「おうちに帰ったら自分の自治会の班を確認してね!」と宿題を出された子供たち。避難場所や経路については家族で話したことがあるけれど、そこは確認したことがなかったという子が多かったようです。

②防災倉庫

第3弾は防災倉庫についての学習です。南門横にある泉自治会の倉庫について、泉自治会の小野寺様、赤堀様、杉村様が中のものをひとつひとつ確認しながら説明してくださいました。実際に担架を組み立てて人を運んでみたり、一輪車に砂を積んで運んでみたりしたことで、子供たちはより具体的に災害時の様子を想像することができました。プール北側の市の倉庫については市役所職員の坂井様、和合町の倉庫については防災コーディネーターの松山様が、「実際に避難所を開設する時には」というお話とともに説明してくださいました。「(避難所になる)泉小のことを一番知っているのは君たちだね!」の言葉に、子供たちは背筋が伸びる思いだったようです。



③防災散歩



第4弾は地域を防災という視点で周る防災散歩です。泉コースは泉自治会の鈴木会長と山口様、和合コースは和合町自主防災隊の防災コーディネーターの松山様とポンプ隊の岩瀬隊長が案内してくださいました。和泉会館の貯水槽を実際に開けて見せていただいたり、和合町の防災倉庫内の備品を見せていただいたりして、子供たちはより身近に地域防災というものを感じることができました。よく通っている道でも、消火栓や貯水槽などに注目して歩いてみるといつもとは違って見えてきます。地震がきたらこの道は通れるかな?大雨が降ったらここは土砂崩れが起こるかもしれない。そのようにシミュレーションしながら歩いたことで、子供たちの防災意識はぐんと高まったようです。雨の中御協力いただきました皆様、ありがとうございました。

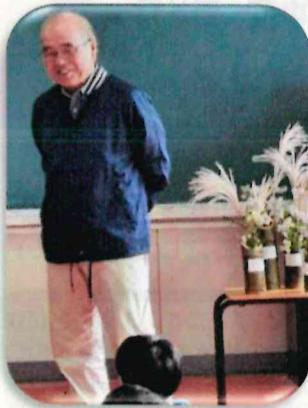
④防災講話

地域防災の学習の総まとめとして、和合町自主防災隊防災コーディネーターの松山様にお話をさせていただきました。様々なお話をしてくださった中でも子供たちが特に真剣に聞き入っていたのが東日本大震災での「釜石の奇跡」のお話でした。一連の防災学習を通して松山様はずっと子供たちに「みんなは地域の一員。何かあったときには大きな力になれるはず。」ということ伝えてくださっていました。そんな中で聞いた釜石市の小中学生の震災当時の避難の様子は、子供たちの心に訴えかけるものだったと思います。質疑応答を終えた松山様から「皆がこんなに真剣に話を聞いて、防災について考えてくれてとても心強い。」との御言葉をいただきました。御協力いただいた地域の皆様のおかげで、今年も有意義な防災学習となりました。



★★ 3年 見つけよう わたしたちがすむまちのひみつ (総合) ★★

* 松本貞司さんのお話 *



地域について学習中の3年生に、今年も和合町在住の松本様が地域の川にすむ生き物や川辺の植物について教えてくださいました。水害対策を優先したため魚がいなくなってきた段子川と、自然のままでも餌や隠れる場所が豊富なために多くの生き物がある権現谷川。二つの川の違いを写真とともに分かりやすくお話してくださいました。また汚れた水を綺麗にするためにはどのくらいの水が必要になるかというお話もしてください、子供たちはその量の多さにびっくり。自分たちも普段から環境のことを考えて生活しないといけないと実感したようでした。毎年御自身で摘んだ野菊を竹で作った花瓶に生けて各クラスにプレゼントしてくださいる松本様。今年も川辺に広がる秋の風情をそのまま運んでくださったような素敵な贈り物をいただきました。最後は皆で野菊の歌を歌い、和やかな授業の締めくくりとなりました。

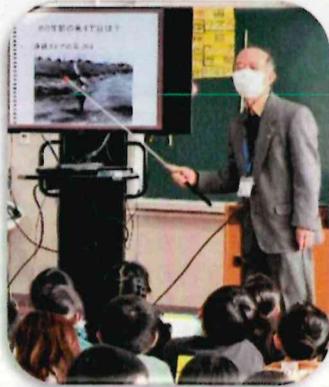
★★ 6年 生活を豊かに ソーイング (家庭科) ★★

6年生はミシンでトートバッグを製作しました。ミシンに触れるのは一年ぶりの子供たちは、記憶を辿りながら上糸と下糸をセットしていきます。ボランティアの方々はそのような子供たちの様子をよく見てくださり、不安そうな子にはそっと助け舟を出してくださっていました。ミシンが苦手な子にとっては、目の前で実演してもらったり、一緒に作業してもらったりするのが一番。ボランティアの方々が丁寧に教えてくださるおかげで、はじめは難しい顔で作業していた子供たちが、「やった！できた！」「もう少しで完成するよ！」と次第に笑顔に変わっていきます。技術面はもちろん、家庭科に対する苦手意識を克服するという点でも、ボランティアの方々のサポートが大きな役割を果たしてくださっています。



★★ 3年 見つけよう わたしたちがすむまちのひみつ (総合) ★★

* 鈴木寛さんのお話 *



3年生の地域学習の最後は鈴木様の「泉・和合地区の今と昔をクイズで学ぼう」という授業です。泉在住の鈴木様が御自身の幼少期の御写真などとともに、泉・和合地区に関するクイズをたくさん用意してきてくださいました。白黒で見る昔の風景、町名の由来や、昔は川で洗濯をしていたことなど、子供たちにとっては驚きの連続だったようです。鈴木様のクイズの答えは一つとは限りません。三つの選択肢全てが正解なんてこともあり、子供たちは大盛り上がり。段子川には昔は水車があり、そこで小麦や麺類など様々なものが生産され、佐鳴湖から浜名湖へ、そして太平洋へと運ばれていたそうです。前回の学習では川そのものについて学んだ子供たちですが、今回はその川が人々の生活にどのように関わっていたか、理解を深めることができました。今まで特に気に留めずに通っていた場所にも長い歴史があることを楽しく学んだあという間の45分間でした。

♪ 毎日の見守り
ありがとうございます ♪

毎朝子供たちの登校を見守ってくださるスクールガードの皆さん。皆が安全に、そして元気に学校に行けるようにと、温かい声掛けをしながら子供たちを見守ってくださっています。また今年度から発足し、旗振りの管理とサポートを担ってくださっている保護者主体の組織「泉っこスマイルサポ😊」の皆さんも、当番表の作成をはじめ、通学路における危険箇所の把握、情報共有など子供たちのために活動してくださっています。保護者の皆様も、朝のお忙しい時間に旗振り活動に御参加いただきありがとうございます。子供たちが「行ってきます！」と元気に家を出て、「おはようございます！」と地域の方々と挨拶を交わし、学校に着いたら安心して一日をスタートさせることができる。当たり前のことのように、この安心安全は学校と地域と保護者の連携があってこそその光景だと思います。皆様の御協力に、心より感謝申し上げます。



コミュニティ・スクール『いずみっこ応援団!!』
公式 LINE VOOM にて活動記録を配信中!



ぜひご覧ください!

←公式 LINE はこちら

